安 岡 重 明

- I 財産調査表について
- I 各社の財産状態
- まとめ

I 財産調査表について

財団法人三井文庫に保管されたいる三井家史料のなかに、三井諸企業の財産調査表がある。明治26年12月31日調の第1号から半年ごとに明治30年12月31日調の第9号に及んでいる。第1号はつぎの表題をもっている。

第一号〔朱書〕

明治二十六年十二月三十一日調

合名会社三井銀行

三井鉱山合名会社

財産調査表

三井物産合名会社

合名会社三井呉服店

第9号の財産額調査表は、つぎの表題をもっている。(次頁)

第1号の財産調査表には記載されていない三井元方がこの調査表に加えられたのは、明治27年6月30日調の第2号からである。このとき「財産調査表」の名称が「資産負債及財産額調査表」と改められた。そして、三井地所部および三井工業部がこの調査表に加えられたのは、明治29年6月30

(房がたてかき

¹ 三井文庫所蔵文書,追845。

第九号〔朱書〕

明治三十年十二月三十一日調

三 井 元 方 合名 三井銀行 会社 三井銀行 三井鉱山合名会社 三井物産合名会社

三井地所部三井工業部

資産負債及財産額調查表

日調の調査表からである。この点について一言しておこう。

諸書の伝えるところによれば、三井元方が設置されたのは、明治26年11月2日である。だから、三井元方が同年末の調査表に登場しないのはおかしい。しかも、この第1号の調査表には、第2号以下に登場する三井元方に相当する機関もないのである。従来の敍述によると26年11月2日には、三井組が三井元方と改称されたことになっているから、三井元方が実際に三井組を引きついだのであれば、26年末の調査表には、三井元方が記載されていなければならないのである。この間の事情を矛盾なく説明しようとすれば、つぎの理由が考えられる。

(1) 三井組から三井元方への改称はたんなる改称ではなくて、質的な変化をはらむものであったということ。26年11月の「三井組を三井元方と改称、三井家同族会設置」の三井組は、同族団の事務局という性格をもっていたと考えられるから、三井元方もいったんはその性質を受けついだとみられるが、それだけでは同族財産の所有の主体としての性格はもちえないから、26年から27年にかけての間に三井元方の性格の変化があり、財産所有の主体として表現されるような地位の強化ないし事実上の法人化があっ

² 安岡重明「三井家同族会の成立前史」『同志社商学』第20巻第1・2号合併号, 1968年。

たと考えられること。旧商法施行直前の段階で,同族財産を所有し運用する機関として,民事会社三井組,あるいは合資会社三井組,あるいは合名会社三井組を設立する諸案があったが,これはいずれの形においても設立されず,三井家の所有する諸企業のみがそれぞれ合名会社として発足したため,同族財産を所有・運用する機関の設立は急務であったろうと想像される。これが三井元方の設立となり,半年後には調査表に財産を所有する機関として登場したと考えられる。26年12月設置の三井家同族会と三井元方とは密接な関係をもったと思われるが,両者の関係は明確ではない。

(2) 第1号の調査表の時点では、三井銀行以下の諸企業を所有している 三井家の調査表としてこれが存在しており、三井家自らを記載する必要を 認めなかったものとも考えられる。すなわち、第1号財産調査表の全体が 三井家財産表という見地である。

それにしても、26年末の財産調査表に三井組ないしは三井元方が出ていないのは、三井本部の組織化のたちおくれ、ないしは制度の不備をあらわしている。

さてつぎに、29年6月30日調から登場する三井地所部および三井工業部についてみたい。 両者は、「三井元方に地所部、工業部を新設」(加藤幸三郎氏) とか、「三井元方のもとに地所部、工業部を設ける」(柴垣和夫氏) とかの表現で、27年10月11日に新設されたことになっている。ところがいまのべたように、財産調査表に両者が現われるのは、29年6月末なのである。約1年半のブランクがあるのである。27年10月に作製された「三井元方規則」第9条は、「三井元方ノ事務ヲ処理スル為メ左ノ一部一課ヲ置 地所部 庶務課」と、地所部のみを掲げていて、工業部をあげてはいない。地

³ 同「旧商法の施行と三井諸企業の改組」『同志社商学』第19巻2号,1967年参照。

⁴ 加藤幸三郎「三井財閥の形成について」『専修大学社会科学研究所月報』33号, 1966年。

⁵ 柴垣和夫『日本金融資本分析』110ページ。

⁶ 安岡重明「三井家同族会の問題点」『同志社商学』第20巻3・4合併号掲載予定。

所部と工業部の取扱いがちがった以上,両者の地位には相違があったと思われる。芝浦製作所(明治26年11月17日入手)のつぎの処置はそのことを物語7る。なお,『芝浦製作所六十五年史』年表には明治27年10月11日に「三井工業部新設せられ同部に属す」とかいているが,つぎの引継文書の日付は,11月24日となっている。

芝浦製作所

本月二十日其所々管の土地建物及附属物件を工業部長三井武之助へ売渡し同時に其所の経営に係る一切の事業及諸勘定を挙げて同部に引継候に付自今其所の儀は工業部に所属し其所主任以下手代, 技手, 職工等同部の定むる所によって職にあるものと心得べし

明治二十七年十一月二十四日

総長 三井高保

三井の中心的直系事業である三井銀行が所有する芝浦製作所を工業部長三井武之助に売渡したのであるから、工業部は三井家の事業としては、法・かには独立的な性格をもっていたようである。明治5年の三越分離、明治9年の三井物産の創立時に危険分散のため、外見上それらの事業を三井家から独立させたことがあったが、三井家と工業部との間にも同様の関係があったのかも知れない。とにかく工業部は、制度的には地所部と同一の取扱いを受けていないことはたしかである。

このように、地所部と工業部とは、三井家諸事業中において異った性格をもっていたが、財産調査表に登場するのは、ともに29年6月である。ところがこの年の8月31日の三井元方規則の改正により、三井元方には、内事課と庶務課とかおかれるだけで、地所部ははずされてしまう。これは地所部が三井元方の機構からはずされて独立的になったことに伴う改正であ

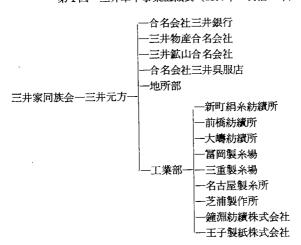
^{7 『}芝浦製作所六十五年史』24ページ。

⁸ 安岡重明「日本における財閥の原型」『社会科学』第1巻3・4号。

⁹ 注6の拙稿を参照のこと。

ったようである。こうした段階の直前に、三井地所部の財産が調査表に現 われてくるのは興味ぶかい事実である。こうして三井家の諸営業(諸企業) が出そろい、財産調査表上で同等の取扱いを受けるようになってきたので ある。ただ所有関係において工業部が地所部や他の直系会社と同一の取扱 いを受けていたかどうかについては、なお検討の余地がある。

柴垣和夫氏は『三井本社史』に依拠して,明治30年 (1897年)の三井**傘下**事業組織表を示している。この第1図で銀行・物産・鉱山・呉服・地所部・



第1図 三井傘下事業組織表(1897年=明治30年)

柴塩和夫『日本金融資本分析』110ページより引用

工業部の六者が並列的になっているのは、さきの経緯からいって実情に近いのであるが、これらを三井元方が統括しているように図示されていることには疑問がある。さきの三井元方の改正規則によれば、明治30年の三井元方は諸企業を指揮する機能をもっていない。もし三井元方が諸企業を指揮する機能をもっていたとすると、規則の方が不正確だということになる。私は三井元方を同族会事務局とし、29年8月に設置された三井商店理事会が第1図の三井元方の位置に記入されるのがよいと思うが、しかし、『三

井本社史』にはつぎのようにかかれているとのことだから、三井元方は規則には定められていないが、三井諸企業(営業店)を指揮していたとみなければならないようである。

「産業資本段階のいわゆる「中上川時代」における管理組織は、三井家同族会一三井元方一各事業会社というたての系列のほか、監査機関としての監査役会、評議機関としての三井商店理事会によってなりたって10いた。」

Ⅱ 各社の財産状態

財産調査表に登場する諸企業ないし諸機関の関係について若干の説明を加えたから、つぎに調査表の記帳形式について説明を加え、ついで調査表全文を表示することにしたい。まず記帳形式の変化をあきらかにするために、三井銀行の財産調査表を原文どおりかかげる。

明治26年12月末の合名会社三井銀行純財産表では、上欄(左欄)に資産と評価益とが計上されている。評価益の欄には、収益にあたる利息とか割引手数料とかの科目はない。諸種の資産の科目に含まれているはずである。

下欄(右欄)には負債と評価損とが計上されている。負債欄には資本金は計上されていない(当時資本金は200万円)。資産・負債欄の最初の小計以下は一見、損益の科目にみえるものもあるが、これは財産表であるから、収益・損失の科目は存在しないとみるべきであり、当期配当金、当季賞与金も支出予定額とみられる。

したがって、上欄の諸差益はその発生理由とその評価額とを示したものであって、上欄全体が資産であり、同様に下欄の評価損もそれぞれ損失の発生理由とその額とを示したものである。全体としてこの財産表は貸借対

¹⁰ 柴垣和夫 前掲書217ページ。

合名会社三井銀行純財産表(明治26年12月31日調)

資 産 摘 要	金 額	負 債 摘 要	金 額
質附及	7,983,347 667 2,955,646 224 189,875 864 4,165,064 204 152,657 939 287,156 215 6,565,717 023 1,794,800 458 24,094,265 600 651,078 724 38,693 981 985,841 844 9,860 001 161,337 001 9,904 791 5,950 421 77,643 218	国债元利金及公五預金 住私送金手形 定期預 的 金 借入金当些工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工	992,634 328 355,038 024 8,045,688 651 6,895,764 912 4,125,815 073 104,046 520 486,422 000 21,005,409 508 121,975 157 60,921 867 80,000 000 48,000 000 310,897 024 4,718,269 048
小計	194,309 980		
総計	26,034,575 580	総計	26,034,575 580

注 原文はたてがきで数字は漢字である

照表であって、貸と借との差が下欄に純財産額として示されている。「純財産額」の「小計」はあとから記入されたものであることが、斜線の入れ 方から判断できる。

三井鉱山合名会社,三井物産合名会社および合名会社三井呉服店も同様の計算によって財産額が算出され、つぎのように集計される。

明治廿六年十二月三十一日調

三井銀行,三井鉱山会社,三井物産会社及ヒ三井呉服店財産総額表

一金四百七拾壱万八千弐百六拾九円〇四銭八厘 三井銀行

一金弐百弐拾壱万六百五拾三円〇壱銭九厘 三井鉱山会社

一金百〇四万五千弐百六拾五円拾六銭九厘 三井物産会社

一金五拾壱万七千九百三拾四円八拾六銭也

三井呉服店

総 計

金八百四拾九万弐千弐拾弐円〇九銭六厘

三井鉱山(資本金 200万円),三井物産(資本金 100万円),三井呉服店(資本金 50万円)の三会社も資本金は計上されていない。一見このことは非常な不備を示すものであるが、四合名会社の全資本金が三井同族の所有物であったので、これを負債に計上するに至らなかったのであろうか。とりわけ、これら諸会社設立にあたって各企業の所有財産の一部または大部分を資本金と評価しただけであったと考えられるから、出資した意識もその企業にとって負債であるという意識も乏しかったであろう。したがってこうした記帳形式も実質的には合理的であったというべきである。

明治27年6月30日調べの資産負債及財産額調査表から三井元方が登場する。それをかかげよう。

資 産 摘 用	金 額	負 債 摘 要	金 額
地 献 定 定 所 謝 定 定 定 元 報 を を で で で で で で で で で で で で で で で で で	1,224,185 236 78,857 645 1,601 994 2,000,000 000 2,000,000 000 1,000,000 000 500,000 000 24,218 985 7,409 324 2,981 656	予備積立金 預 リ 金 身元保証金 借 入 金 支払未済予備準備積立 及歳費金 財 産 額	51,200,000 672,046,000 15,580,000 725,000,000 98,400,000 5,277,028,532
総計	6,839,254 840	総計	6,839,254840

三井元方資産負債及財産額調査表 (明治27年6月30日)

この期から各会社の財産表において、負債欄に資本金が計上されるよう になった。しかし、いったん26年末と同様の計算をしたあとで、負債欄末

注 原文はたてがきで数字は漢字である

に資本金額が書き加えられ、その額だけ純財産額が減額されている。三井元方の財産表が作製され、その資産として各社の資本金が計上されたため 各会社の財産表にも資本を計上しなければならないことに気づいたものか と思われる。そして最後につぎのように集計されている。

九十〇五四十五八四十七三十	総計
八八三一、六一三:二六八	
五、二七七、〇二八・五三二	三井元方
A 五一、五八八·五一一	会社三井呉服店
₩、一七五、二九〇·五五四	三井物産合名会社
#、七七七、三八四・九八一	三井鉱山合名会社
加、五五○、四二○·六九○ 円	会社三 井 銀 行
金額	名称

· 万三十日調 三井吳服店財産表| 一三十日調 三井銀行三井鉱山会社三井物産会社明治二十七年

27年12月31日の三井元方,三井銀行,三井鉱山会社,三井物産会社,三井県服店財産表も,四合名会社の財産額はいったん,資本金を含めた金額で記載され,あとでその額だけ抹消によって減額されている。この点が記載の当初から整理されたのは,明治28年6月30日調からであった。このように財産調査表の形式が完全に整うのは,第4号のそれにおいてであった。

つぎに各会社ないし機関の財産

表の概略を説明しておきたい。財産表上の数字を関連資料によって確める 必要があるが、でく一部を除きそれができないから、たちいった観察は困 難である。 (本稿末の財産表を参照のこと)

1 三井元方

三井方がこの調査表に登場するのは、明治27年6月30日の調査表からである。既述のように三井元方ができたのは26年11月2日であったから、本来ならば26年末の調査表にも出てこなければならない。調査表に現われるのが半年遅いのは、三井元方の制度上の位置づけが確定していなかったからであろう。さて、27年6月から調査表に登場した三井元方は、三井銀行・三井鉱山・三井物産・三井呉服店への出資金を主要な資産としている。

そのほかに地所勘定, 土蔵家屋勘定の計が200万円から2百数十万円となっているが, これは30年6月調から三井地所部資金となる。三井工業部貸出(ないし資金)は,27年12月の調査表から勘定にあがっている。その他の科目で多額なのは,30年上, 下期に急増した諸貸金(貸付金)である。これについては三井物産との関連で説明しよう。

負債は、預り金と借入金がそれぞれ数十万円あるが、のちにはこれらは 減じていく。29年下期から当座借越が急増するが、それも百万円どまりで あった。したがって、資産と純財産とはそうへだたっていない。財産額は 27年6月調の527万円から30年12月調の934万円へ急速に増加している。三 井元方財産の計算法がなかなか確定しなかったことについては、すでにの べた。

2 三井銀行

三井銀行の資産のうち、貸付金、当座預金貸越、割引手形、国債証券、銀行会社株式等が主要なものである。荷為替は増加の傾向にあるが、大きい比重は占めていない。各店への借は、ときに多額にのぼる。国債証券代価差益以下は、当該期間における評価益であろう。年々相当多額の評価益があり、これが財産増加の一大原因となっている。そして三井銀行の収益の圧倒的部分は、銀行会社株式代価差益であったから、企業としては健全な姿とはいえないだろう。

銀行の負債は、主として定期預金、当座預金、小口当座預金、約定預金 別段預金、借入金、再割引手形、などからなっている。各店からの借もと きに多額にのばる。このなかでとくに増加傾向を示しているのは、定期預 金、小口当座預金、再割引手形であり、別段預金(内容不明)は減少してい っている。30年下期には、国債証券代価差損、銀行会社株式代価差損を40 万円弱出している。

全体としてみると、定期預金を中心とした各種預金をもって購入した国

債・株式の所有に伴なう収益と、割引手形の利息収入とが三井銀行の収入源であったといえるようである。ただし、加藤俊彦氏は、この割引手形の増加を三井銀行の商業銀行化とみることには疑問がある、その中には三井系企業へのいわゆる手形貸付が相当あったようだ、と指摘している。

3 三井鉱山合名会社

三井鉱山の資産は主として、各鉱山財産、各鉱山営業資金および各鉱山起業資金からなっている。27年6月末決算から毎期、「三池鉱山価格欠損高」279万5,000円が計上されている。このとき、三池鉱山財産は、先期の455万5,000円から212万3,785円へ減額されている。三池鉱山を再評価し、払下げ価格との差額を別勘定にして、三池鉱山財産額を正確にしたのであろうか。各鉱山の財産は鉱山でとの評価になっていて、財産増減の事情は不明である。

負債においては,大蔵省未納年賦金が目立つ。これは三池鉱山代価の未納金であろう。年賦支払いにともない年々減じていっている。27年6月調べから「三池鉱山価格欠損償却積立金」139万円が現われ,これが30年11月末には228万円に達した。金額からみると,26年末の「各鉱山資本償却積立金」(129万9,000円)が改称されたようである。このほか29年11月からは補塡積立金が50~60万円計上される。このころ三井鉱山合名会社の年間純益は100万円前後と推定されるから,三池鉱山年賦金(年25万円程度)もさして負担にはならなかった。

4 三井物産合名会社

三井物産の資産で多額にのばるのは,船舶原価勘定,商品勘定店持の部 差引額,商品勘定依頼の部差引額,貸金勘定,受取手形,売掛金勘定など

¹ 加藤俊彦『本邦銀行史論』134ページ。同「三井銀行と中上川彦次郎」『金融経済』60号,55ページ。

² さしあたり安岡重明「三井財閥形成過程における有限責任制」『経営史学』第3 巻3号掲載予定。

である。船舶原価勘定が多額になったのは、三井物産が船舶所有を拡大したからだと思われる。商品勘定依頼の部差引額は28~9年には減少するが、30年下期には増加している。 貸金勘定は変動が大きい。30年上期には600万円に達している。 30年下期には貸金勘定は約240万円になるが、受取手形と売掛金勘定の合計が約350万円となって現われている。 日清戦後の恐慌の影響であろう。

負債では、預り金勘定、仕払手形、各銀行勘定が多額にのばっている。

5 三井呉服店

三井呉服店の資産のうちで多いのは、当然のことながら、商品現在高である。26年下期には、新町紡績所および同土地家屋機械等が約49万円ほど計上されている。27年上季には新町紡績所関係の科目は見当らないが、これは絹糸・家屋・機械などの科目に入っているのではないか。

負債の方では、資本金が27年下期にいったん50万円から25万円に減額され、29年下期にもとの50万円へ回復している。目だって多額なのは29年下期の当座借越約48万円である。やはり恐慌の影響であろうか。

6 三井地所部

地所部の資産は、地所・建物からなる。問題は「地所建物代価差益」である。これは取得した物件の価格と時価との差額であろう。これが30年上期に急増している理由はわからない。

資本金 (29年6月は仮資本金とある) は,固定したものではなく,たえず変動している。

地所部は27年10月に新設され、三井元方に属していたが、既述のように 29年9月の三井元方の改組により地所部が独立するまでは、地所部の財産 調査表は作られなかった。この地所部は、明治42年10月の三井合名会社設 立に伴う改組のさい、三井銀行に吸収された。

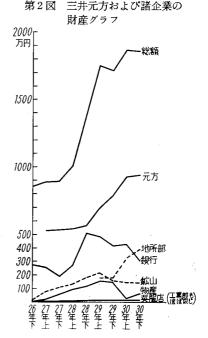
7 三井工業部

工業部の性格についてはすでにのべたのでその点は省略する。工業部の 資産は、各工場資金と製作所・製糸所・紡績所勘定からなる。29年上期に はこれらは一括されないで、各科目に分類されていると思われる。

29年上期の資本金55万円は、三井元方の財産調査表にでてくる三井工業部貸出70万円とくいちがっている。このあと三期の資本金は一致している。ときに多額になっているものに、当座借越金・各銀行勘定がある。資産に多額の原料96万円があるが、銀行からの借入金によって仕入れられたものと思われる。

Ⅲまとめ

三井元方および諸会社、諸部の 財産表は、いろいろ興味ある事実 を物語る。まず、財産総額は満4 年間に849万円から1,857万円へ約 三倍強の増加である。しかし, 順 調 に 財産額 を 増加させているの は、 三井元方 と 地所部 だけであ り、銀行・鉱山・物産・呉服店・ 工業部の財産額は一進一退の状況 であって、総額がのびたのは、も っぱら三井元方と三井地所部の財 産額の伸びに負っているといわね ばならないようである(第2図)。 元方と地所部という三井家の機構 の中枢機関の財産が順調にのびた 形になっているのは、各企業の収



注 明治26年下期の財産額は財産調査表の額より資本 金を引去った額で表示した(理由は本文参照)。

年月日	三井元方	三井銀行	三井鉱山	三井物産	三井呉服店	三井地所部	三井工業部	Bt .
明治 26.12.31		4,718,296	2,210,653	1,045,265	517,934			8,492,122
27, 6.30	5,277,028	2,550,420	777,284	175,290	51,588			8,831,613
27.12.31	5,359,061	1,900,169	1,065,329	535,414	61,605			8,921,579
28. 6.30	5,401,059	2,687,262	1,313,573	923,770	82,273			10,407,937
28.12.31	5,630,567	5,076,347	1,790,116	1,139,356	103,352		-	13,739,739
29. 6.30	6,959,746	4,867,668	2,153,948	1,530,290	132,137	1,777,189	110,048	17,531,029
29.12.31	7,895,528	4,177,596	1,582,263	1,453,232	127,238	1,794,627	124,758	17,155,245
30, 6,30	9,246,437	4,309,898	1,457,841	259,872	142,120	3,243,680	8,122	18,667,974
30,12,31	9,345,633	3,030,663	1,421,681	602.083	160,777	3,933,468	81,966	18,576,274

第1表 三井諸企業の財産表 (単位円,円未満切捨て)

- 注1 27年12月31日の計は実際の計より5,000円すくないがそのまま。
 - 2 拙稿「明治中期の三井組大元方勘定目録」「同志社商学」第19巻第4号(1968年)掲載の財産 表では、明治27年上・下期の一部に誤りがあったので本表のように訂正する。

益をこれらの中枢機関が吸いあげたことによるところが大きいようである。 たとえば、明治30年1月15日の三井商店理事会議事録の物産会社に関する 一項に、「一積立金百弐拾五万円元方へ納入尚ホ右無利息ヲ以テ当会社営 業資金=借用ノ件可決」とある。三井元方の財産表において、貸付金が29 年12月末の1万4,668円から30年6月末の126万3,711円へ急激に増加して いるのはこのためであろうか。また三井物産の財産が29年末145万から30 年6月末26万円弱へ減っているのも、この措置のためと思われる。

このように各企業の財産額の変動は三井元方および三井地所部の財産額の動きと関連させて検討しなければならないことが判明した。そして右の財産額の伸びが示すように、元方は各企業の財産をたえず吸いあげようとしていたようである。125万円の積立金の納入にしても、物産会社は無利息でその全額を使用できるから実害はないようであるが、125万円の所有権は三井元方へ移転しており、物産会社はほんのわずかの財産しかもたない状態におかれたのである。これも三井家財産保護のための措置であったことはたしかである。そして財産保全のため三井元方が営業に掣肘を加える可能性がたえず存在したのである。財産所有と営業との対立は、三井同族と中上川彦次郎との対立として潜在的に存したことは、別稿において論

じたとおりである。

この財産調査表をこまかく検討していけば、三井元方と各企業、三井銀 行と他諸企業との関連がもう少し明確になるであろうが、紙数の制約もあ るので、これ以上たち入らないことにする。

(1968年10月3日稿)

付記 資料の整理にあたって西村さだ子さんので協力をえた。記して感謝の意をあらわす次第である。

¹ 安岡 前掲稿「三井同族会の問題点」

三井元方 資産・負債及び財産額調査表

資 産 摘 要	27.6.30	27.12.31	28.6.30	28.12.31	29.6.30	29.12.31	30.6.30	30.12.31
三井銀行 出 資	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000
三井鉱山会社出資	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000
三井物産会社出資	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
三井呉服店出資	500,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	500,000	500,000
三井地所部資金							2,859,000	1,630,991
三井工業部貸出		522,467	522,467	600,000	700,000	860,000	860,000	860,000
地 所 勘 定土蔵家屋 勘 定	1,224,185 78,857	2,581,176	2,581,176	地所部勘定 2,598,562	同左 2,612,049	同左 2,650,000		
預 ケ 金	1,601							
雑 勘 定	7,409					293,804	78,751	13,912
所有物勘定	2,981	2,981	14,981	14,981	2,981	2,981	2,981	2,981
貸付金	24,218	23,553	22,768	21,085	20,569	14,668	1,263,711	1,269,008
建物勘定	21,210	20,000	22,100	21,000	20,303	14,000	128,000	343,814
建 築 費							120,000	040,014
総 計	6,839,254	8,380,178	8,391,393	8,484,629	8,585,600	9,071,455	10,683,444	10,884,397
負 債 摘 要								
予備積立金	51,200	69,000	95,800	116,400	144,300	191,300	221,718	242,718
預 リ 金 勘 定	672,046	657,243	608,727	552,193	562,865	237,459	168,243	118,708
身元保証金	15,580	15,150	3,100	2,800	2,300	10,900	10,900	
借入金	725,000	2,125,791	2,025,791	2,025,791	571,175			

支払未済予 積立及歳費	備準備! 金	98,400	124,800	*127,800	130,200	141,000	147,000	147,000	150,000
(三井銀行) 当 座 借	· 越		14,574	113,892	26,677	204,212	589,267	880,504	656,619
雑 勘	定		14,558	15,224		•			
臨時賞与及 積立金	ビ報酬							8,640	15,753
別口当座借	越金								343,814
財 産	額	5,277,028	5,359,061	. 5,401,057	5,630,567	6,959,746	7,895,528	9,246,437	9,345,633
総	計	6,839,254	8,380,178	8,391,393	8,484,629	8,585,600	9,071,455	10,683,444	10,884,397

* 28年6月より「同族方予備積立準積立及歳費」となる

会全会计 三	答在。	負債及び財産調査表	(答産
宣为崇任二开城1]	闰生"	貝頂及り別生剛且女	【貝座.

(単位円)

資 産 摘 要	26.12.31	27.6.30	27.12.31	28.6.30	28.12.31	29.6.30	29.12.31	30.6.30	30.12.31
	}7.983.347	5,136,420	6,508,115	7,078,601	9,135,072	8,290,084	5,787,805	5,600,398	4,790,403
当座預金 貸 越	(1,900,041	1,357,759	1,556,138	2,392,764	2,729,982	4,040,312	6,527,388	6,373,593	5,621,579
割引手形	2,955,646	3,329,340	2,864,028	2,543,041	4,272,609	5,773,566	5,286,469	7,072,422	9,,61,122
荷為替手形	32,333,040	163,515	516,158	259,475	366,350	658,350	490,571	402,618	778,808
預ケ金	189,875	847	5,775	33,367	27,148	1,677	22,059	88,204	1,208
国債証券		3,919,711	4,306,204	5,765,234	5,793,512	6,880,119	6,942,600	6,943,288	6,957,878
国債証書及地金銀	4,165,064		7					1	
地方債証券					3,000	209	5,349	21,477	52,772
他店へ貸	152,657	164,599	298,532	326,298	427,578	471,933	575,302	588,569	525,100

究 (安岡)

各 店 〈 貸 営 業 用 地 所 同 家作土蔵 営 業 用 什 器 銀行 会社 株式	287,156	461,866 3,930 4,927,307	3,897	3,952	143,323 3,444	146,543 5,314	218,282 2,198	2,198 0	0 0
会社債券 地 所建 物		237,784						167,066	1,022,170 263,537
金 銀 有 高 抵当質物流込物件		2,014,832 1,383,015		2,014,181 120	1,361,026	1,626,624	1,634,643	1,243,644	1,564,789
函館水道起業費公借証				2,362			2,.100		
地金銀						19,891		440	
公借証書及預金証書 京都博覧協会出金預証						2,491	183		
本 支 店 勘 定		161,559							
小 計	24,094,265	23,262,488	23,838,064	25,410,994	30,177,801	39,988,598	34,597,539	35,819,715	44,581,361
国債証券代価差益		528,995	73,774	158,728	345,585	318,507	97,817	104,208	
銀行会社株式〃	985,841	695,092	419,843	994,923	3,029,125	2,443,826	1,394,391	1,134,793	
会社債券 〃	9,860	5,180	5 90	1,100	1,100		1,100		
流込地所 "	161,337	292,717	190						
営業用地所 〃	38,693	12,173	27,170	16,954	27,672	107,263 (609)	266,239	312,793	299,191
営業用什器 〃	ر	133	333	170	742	5,314	2,964	3,133	7,022
代価支払済所有物件	9,904	9,153	8,956	9,832	10,301	10,064	147,066	117,036	13,802

支払ヲ見込マザル諸預 リ金		5,778	2 ,75 2	39	39	39	39	19	27
同上 支払未済割賦金		1,531	2,029	6,249					
同上 大元締預リ金		80,786	76,243	84,565					
国債証書及地金銀差益流込建物代価差益	651,078		511						
流 处 建物 八 叫 左 盆			011						
地方債証券代価差益					135	(8,678)			
営業用家作土蔵代価差益		·			12,323		62,627	62,136	156,098
地金銀代価差益								3	
支払ヲ見込ザル諸預金 及送金手形	5,950			'					
支払ヲ見込ザル 大元締約定預金	77,643								
小 計	1,940,309	1,631,541	612,306	1,272,562	3,427,024	2,884,986	1,972,246	1,972,125	476,142
総計	26,034,575	24,894,029	24,450,370	27,683,556	33,604,825	42,873,585	36,569,786	37,553,841	45,057,504

	合名会社三井銀行 資産・負債及び財産調査表(負債)									
負 債 摘 要	26.12.31	27.6.30	27.12.31	28.6,30	28.12.31	29.6.30	29.12.31	30.6.30	30.12.31	
国債元利預金	992,634	20,489 581,362		588,727 589,884	•	24,533 548,321	47,353 846,799	· 1	5,429 452,825	
公 金 当座預金 仝 預金手形		37,599	- /	20,667	31,012	19,082	10,653	38,896	9,140	
全 逓送金		23,517	53,941	26,429	60,625	48,153	28,653			
定期預金	8,045,688	3,451,783	3,607,055	3,884,133	6,262,704	8,902,823	9,835,226	10,096,649	9,730,863	

究 (安岡)

	1	ı	r -	1						
当 座 預 金	}	2,687,211	3,025,525	4,441,594	4,212,956	5,366,838	3,656,593	4,374,586	3,583,087	
小 口 当座預金		4,321,079	4,372,569	5,345,168	5,583,798	6,319,896	6,607,844	7,582,440	7,784,581	
約 定 預 金		605,796							1,699,786	
預 金 手 形		227,035	138,769	51,156	105,883	196,248	59,174	161,961	49,546	
別 段 預 金		2,871,126	2,292,479	2,103,158	1,402,217	1,713,053	1,626,875		1,281,465	
利 息 預 金		24,860	21,660	27,513	19,964	18,915	6,379	10,230	9,075	
代 金 取立手形		2,403	4,703	2,901	3,797	5,027	20,932	20,331	6,933	
借 入 金	4,125,815	3,626,512	3,729,910	3,748,458	4,917,760	5,001,410	4,205,863	2,688,652		
再割引手形	3		1,082,201		1,417,555			2,645,342		
他店ョリ借	104,046	81,228	118,688	164,937	278,485				342,421	
各店ヨリ借						4,713,406			5,341,763	
身 元 保 証 金	486,422	455,735	379,865	325,826	315,636	245,252	200,484	168,343	163,806	
各 店 送金手形						971,812	626,608	533,542	1,159,612	
他店仕払送金手形						88,131	94,763	74,717	68,933	
国債元利金及公金預金	992,634					·	ĺ	,	***************************************	
仕 払 送金手形	355,038	93,212	193,627	211,789	239,949					
諸 預 リ 金	6,895,764			,						
公金仕払送金手形		2,439	11,843	20,225	125,296					
本支店勘定			299,719	614,062	290,647					
小 計	21,005,409	20,031,970	20,319,912	22,834,869	26,372,304	35,777,243	30,306,109	31,155,767	39.555.712	
資 本 金		i								
位払社員未済配当金 世払社員未済配当金	80,000		2,000,000	2,000,000	2,000,000	∠,000,000		1		
	'	<i>143,000</i>	130,000	130,000	150,000	160,000	80,000	80,000	80,000	
仕払未済行員賞与金	48,000		·	·	·	'				
								·		

貸付金中取立見込ナキ分 国債証券代価差損 地方債証券代価差損 銀行会社株式代価差損 地 所 代価差損	121,975	94,391	73,762	7,441	5,902	6 8, 670 3	6 , 072	7,174	948 320,725 562 65,886 1,620
建 物 代価差損 流込建物代価差損 営業用建物代価差損 流込雑品代価差損 荷為替手形中取立見込 ナキ分	60,921	60,896 33,348	24,197 2,327		271				1,385
財 産 額	4,718,269	4,550,420	1,900,169	2,687,262	5,076,347	4,867,668	4,177,596	4,309,898	3,030,663
総 計	26,034,575	24,894,029	24,450,370	27,683,556	33,604,825	42,873,585	36,569,786	37,553,841	45,057,504

	Ξ	井鉱山合名	会社 資産	負債及財	産額調査表	(資産)		(単位)	円)
資 産 摘 要	26.12.31	27.6.30	27.12.31	28.5.31	28.11.30	29.5.31	29.11.30	30.5.31	30.11.30
三 池鉱山財産	4,555,000	2,123,785	2,244,011	2,404,349	2,490,712	2,569,352			
神 岡 "		216,696	240,072	276,381	277,971	282,791			
茂 住 "		86,415	90,930	146,737	151,425	155,572			
亀ヶ谷 〃		25,000	25,000	25,000	25,000	25,000			
秋 町 ″		10,000	10,136	10,136	10,136	10,136			
古 宇 "	543,500	9,500	9,827	9,838	9,838	9,838	3,477,763	3,656,067	3,708,800

,	. 1								
鹿 野鉱山財産		28,623	36,274	39,357	45,940	46,812			
岩雄登 //		40,000	46,885	46,885	48,858	48,858			
荒 湯 〃		4,000	4,000	4,000	4,000	4,000			
一菱内 //		3,257	3,257	3,257	3,257				
宇曾利 //		3,050	6,246	6,246	•				
剱 山 <i>/</i>		,	,	,	,				
жа ロ // 田 川 //		35,000	35,000	35,000		,			
	,	´	.	,	25,000	,)	الإ
他会社 株 式	150,950	41,650	74,250	93,400	96,180	97,035	92,400	93,900	60,000
三井銀行勘定貸	14,883				10,596				
別途預ヶ金	20,000				(28.11.30 井銀行"	0は"三)			İ
									1
用度	10				300	150	100	,	238
三池鉱山価格欠損高		2,795,000	2,795,000	2,795,000	2,795,000	2,795,000	2,795,000	2,795,000	2,795,000
三池鉱山起業未決算		107,726	153,480	242,736					
各鉱山起業未決算		93,767	128,011	54,711					
大卷銀山営業資金		14,244	12,684	13,618	23,307	48,077	81,703	80,764	3,153
			ŀ			-	(28,11.3	0以降は大着	多銀山株式 \
未次算	į	59,218	24,174	16			∖会社 3	0.11.30はナ	でで プログログログ (香脚定)
勝立丸原価			313,756	313,904	313,904	313,904	313,904	313,904	
三 池鉱山営業資金		455,783	383,718	461,463	429,378	561,822)	1	il.
神 岡 〃	,	1))	256,826	\			
茂 住 〃				-	57,857				
亀ヶ谷 〃					14,459				
秋 町 〃					3,817				
古 宇 〃	682,015	442,199	490,822	489,922	5,656	514,519	998,212	1,169,107	954,743
					.,	,,-101	, 555,512	, 100 , 101	, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,

鹿雄 養 到三神秋鹿 荒 一 剱三神秋鹿 荒 菱 侧 山 地 岡 町 野 湯 内 山 地 岡 町 野 湯 内 山 ツ 川 川 川 川 川 川 川 川 川 川 川 川 川 川 川 川 川 川	284,031				57,607 42,061 28,137 25,443 14,615 21,949 323,129 16,728 474 2,750 986 1,431 19,903	443,951	730,080	908,651	1,502,601
勝立丸 航海費 倉谷鉱山株式会社						35,606	33,239 14,516	9,006	36,612
三井物 産会社 仮 渡 金 未 収 入 身元保証代用品									218,576 30,947 6,479 1,040
総計	6,250,391	6,594,916	7,124,540	7,471,965	7,699,762	8,129,169	8,536,920	9,026,402	9,418,191

究
()

		1 365	ALL ALE	A LL ZO X	7年9月五天((34)		(平匹)	1)
負 債 摘 要	26.12.31	27.6.30	27.12.31	28.5.31	28.11.30	29.5.30	29.11.30	30.5.31	30.11.30
資 本 金		2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000
補塡積立金							489,859	553,170	657,755
三池鉱山価格欠損 償却積立金		1,396,604	1,523,568	1,650,532	1,777,496	1,904,460	2,031,424	2,158,388	2,285,352
大蔵省未納年賦金	2,285,360	2,158,396	2,031,432	1,904,468	1,777,594	1,650,540	1,523,576	1,396,612	1,269,648
三井銀行 勘 定		70,751	304,255	286,716		31,631 (29.5.30 "三井釗	535,233 以降\	1,086,924	1,312,773
石炭荷為替勘定						\ "三井銷	終行。 /		77,916
(諸)預り金							24,879	24,651	188,108
(役員)身元保証金	7,588	36,827	39,667	41,814	46,924	51,936	55,950	61,287	65,790
仕払未済社員配当	90,000	130,000	} 135,000	} _{135,000}	} _{135,000}	} 139,000	126,892	} 111,728)
〃 重役賞与	23,000	, 100,000	} 100,000) 100,000	} 100,000	j 105,000	, 120,032	} 111,120	139,164
〃 建築資金)
未決算	13,612			116,196	150,578	173,887	135,592	111.698	
各鉱山資本償却積立金	1,299,589			210,100	100,010	110,001	100,002	111,000	
各鉱山起業償却積立金	3,384								
三池鉱山別途積立金	290,936								
定期預金	,	15 140	10.070		9.705	0.015			
	$\{26.266$	15,149	12,679	11 004	8,795				
貯 蕎 預 リ 金 航 海 費 勘 定		9,902	11,437	11,334	13,347	15,448			
			4,171				10, 220	40, 000	
勝立丸原価償却積立金 〃 保険積立金							19,339	40,266	
″ 床換價並並							9,417	18,834	

勝立丸釜	修繕積3	立金							2,500	5,000	
別途定期	預り金					12,330			·		
財 産	額		2,210,653	2,777,284	1,065,329	1,313,573	1,790,116	2,153,948	1,582,263	1,457,841	1,421,681
総	計		6,250,391	6,594,916	7,127,540	7,471,965	7,699,762	8,129,169	8,536,920	9,026,402	9,418,191

	≡	井物産合名会	会社 資産・	負債及び別	産調査表(資産)		(単位F	円)
資 産 摘 要	26.12.31	27.6.30	27.12.31	28.6.30	28.12.31	29.6.30	29.12.31	30.6.30	30.12.31
諸公債勘定	28,100	28,100	36,024	36,024	36,024	36,024	36,024	46,100	101,189
諸 株 金 勘 定	119,361	121,232	119,238	130,592	135,762	134,829	149,351	86,545	80,629
不 動 産 勘 定	238,956	237,419	127,321	116,610	128,797	124,052	142,829	415,537	427,267
各船舶原価勘定	437,852	393,860	373,840	661,187	823,216	694,433	770,969	880,000	1,471,254
家 具 勘 定	12,760	13,848	11,211	10,214	12,882	24,430	28,004	37,091	25,181
商品勘定店持ノ部差引額	351,691	377,345	587,752	236,344	270,100	139,209	655,422	68,015	789,344
商品勘定依頼ノ部差引額	1,145,764	1,302,655	1,580,463	637,622	268,903	455,097	862,782	393,509	1,185,700
貸 金 勘 定	1,496,972	228,672	628,825	1,942,933	1,896,100	2,781,883	3,185,874	6,009,366	2,393,498
荷 主 貸 金		501,415	135,421						
約 定 貸 金	i	3 ,5 32	2,631						
未決貸金		278,545	180,121						
漁場貸金		668,876	218,668						
第一滞貸金	424,477	411,236	409,364	407,904					
滞貸金		27,556	31,773	35,076	452,902	454,665	484,371		
受 取 手 形		480,75 2	291,219						2,275,334

売 掛 金 勘 定 身元保証代用品		510,622	349,124						1,250,829 52,400
引合店勘定									544,790
本支店勘定									293,984
正貸在高	454,799	40,206	47,626	65,703	47,374	110,934	107,411	152,742	111,436
各船舶航海勘定		19,936	4,473	70,587	36,766	38,315	15,831 (29,12,3		
倫敦支店 勘 定				201,327			航海未济	動定")	
各銀行勘定					378,761				
本支店引合未記入勘定	24,177								
未記入勘定			98,855	48,628		·			
本支店未記入勘定					59,829	453,184		78,987	
総 計	4,734,905	5,645,816	5,233,957	4,600,758	4,547,431	5,447,062	6,429,873	8,813,447	11,002,840

三井物産合名会社 資産・負債及び財産調表(負債)

(単位円)

負 債 摘 要	26.12.31	27.6.30	27.12.31	28.6.30	28.12.31	29.6.30	29.12.31	30.6.30	30.12.31
資本金船舶航海		1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000 2,938
預リ金勘定	1,620,842	680,843	300,533	1,270,621	1,535,610	1,669,566	2,172,460	4,914,664	3,134,840
荷 主 預 リ 金		299,814	5,104						
仕 切 預 リ 金		20,241	127,952						
約定預リ金		36,553	12,002						
未 決 預 リ 金		474,479	381,029						

各船舶 積 立 金		2,426	13,841						
仕 払 手 形		959,442	691,140						2,296,548
身元保証金									142,807
滞貸準備金					455,579	457,030	489,510	!	105,457
火災保険金									9,313
(各)銀行 勘定	1,323,011	912,960	1,336,596	751,860		108,714	1,086,772	2,516,618	3,318,289
損失準備金									200,000
仕払未済社員配当	40,000	95,000	100,000	100,000	100,000	} 110,000	116,688		188,252
仕払未済社員賞与	31,000)) 100,000	(26.12.31 \(\)))	3 110,000		100,202
仕払未済建築資金					\26.12.31				
		511 970	289,203	145 141	216 905	E71 4C1	99 500	100 001	
引合先勘定	250,308	511,270 38,700	209,200	145,141	316,885	571,461	88,503	122,291	
未記入勘定	424,477	438,793	441,138	409,364			22,705		
滯 貸 金 (取立ヲ見込マザルタメ)	424,411	400,730	TII,100	405,304			22,700		
本支店貸借未記入高									Ì
未済賞与金									2,308
財産額	1 045 965	1 175 900	1 505 414	000 770	1 100 050	1 500 000	1 450 000	050 050	`
		1,175,290				1,530,290			·
総計	4,734,905	5,645,816	5,233,957	4,600,758	4,547,431	5,447,062	6,429,873	8,813,447	11,002,840

	11-	H 23 (LL/1 >		. Aux	MI KILLING ILL.			```	
資 産 摘 要	26.12.31	27.6.30	27.12.31	28.6.30	28.12.31	29.6.30	29.12.31	30.6.30	30.12.31
商品現在高	205,567					467,815	840,506	784,487	699,845
商品絹織物類代価		156,042	192,374	210,611	296,110				
商品木綿織物類代価		40,776	36,993	38,586	66,904				
商品洋服地質及付属品 代価	5,395	55,906	61,354	52,163	26,962				
商品絹紡績糸並材料		179,142							
売掛代金収入高						27,345	33,716	36,398	28,049
受入手形	900	17,973	70,000	83,000		1,704		718	
旧洋服店残品外数件		21,510	.0,000	20,000		26,574	40,014	30,646	12,240
地	13,883	31,768				,			
家屋		138,770	Į	85,950	85,950	99,398	99,398	67,450	67,450
有 価 証 券					15,194	8,092			
現金有高	金銀有高 16,484					38,501	37,442	57,408	44,621
絹 仕 入 方	979					,			
桐生出張所	69	a.							
大阪支店 勘 定	47,670								
京都出張所	1,000								
新町紡績所	337,342								
新町紡績所地所家屋機械	150,000								
東京大阪京都家屋	84,750		1				}		

株		券	10,375	10,375	12,325	18,364		1		-	
諸	貸	金	1,141								
賄け	方 有	物	123								
売掛き	4代金戡	旋		50,006							
貸		金		5,503	5,754	6,736	7,315				
仮	出	金		59,837							
機		械		167,345							
備		ם		5,000							
取立((取引)先	貸金			2,011	12,355	19,294				922
預ケ	金勘	定			29,482	8,660					
金鱼	根 勘	定		10,155	9,300	20,450	22,843				
総		計	875,632	928,602	504,345	536,876	540,575	669,430	1,051,077	977,109	853,129

合名会社三井呉服店 資産・負債及び財産表(負債) (単位円)								円)	
負債摘要	26.12.31	27.6.30	27.12.31	28.6.30	28.12.31	29.6.30	29.12.31	30.6.30	30.12.31
		500,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	500,000	500,000
諸預り金	124,695	149,578	89,986	123,007	71,804	58,903	74,450	65,476	38,747
商品切手(引替未済高)						5,771	11,736	13,844	19,830
身元保証金	89,431	62,697	50,644	48,957	41,345	35,363	29,891	32,692	35,865
当座借越金							481,297	192,534	66,589
支払手形 (未払高)		10,566	7,5 03	3,607	7,855	15,522	15,258	5,634	11,318
支払未済社員配当金 支払未済社員電与金		28,000	28,000	19,000	22,000	25,000] 14,672	15,438	20,000

三井銀行借入金 三井銀行当座借越金 一 時 預 リ 金 綿仕入方木綿仕入方 京 都 支 店	100,000 40,894 2,603 203 472	100,000 17,342 3,850	(27.6.30 <u>-</u> 行定期借 16,606		18,766 12,702	133,182				112
八王子支店当季配当季賞与金職工保護預金	1,397 20,000 8,000	3,692			19 740	:				#H
取引先 預 リ 金 取引先ヨリ借金 家屋其他償却積立金		1,286			12,748	13,550	9,585 36,948	9,367		研究
財 産 額 総 計	517,934 875,632	551,588 928,602	361,605 504,345	82,273 536,878	103,352 540,575	132,137 669,430	127,238 1,051,077	142,120 977,109	160,777 853,129	(安岡)

三井地所部 資産・負債及び財産調査表(資産)

(単位円)

~	29.6.30	29.12.31	30.6.30	30.12.31
地 所	2,272,235	2,244,006	2,498,948	2,647,577
建物	281,231	267,592	257,041	240,580
名商店新築所敷地勘定		48,846	68,496	14,650
家 具 及 什 器	1,625	1,772	1,436	1,171
仮 支 出	5,947	274,497	17,105	6,063
諸預ヶ金		36,287	38,209	117,739
出張所勘定	9,594	} 104		128
差配所勘定)	,	127	, ·
金銀勘定	364	4,111	1,131	1,931
地所建物代価差益	1,605,189	1,782,627	3,228,180	3,898,983
造林及殖産物処理勘定	45	141	155	
移転料	235			
三井元方 金 預	269,930			
三井銀行定期預	4,315			
〃 当座預	4,400			
三井集会所敷地勘定		60,812	60,812	
総 計	4,455,113	4,720,802	6,171,647	6,928,826

三井地所部 資産・負債及び財産調査表(負債)

(単位円)

負債商要	29.6.30	29.12.31	30.6.30	30.12.31
(仮) 資 本 金	2,531,559 (29.6.30のみ	2,650,000 "仮資本金")	2,850,000	1,630,991
三井集会所敷地代	60,812		. 1	
新築敷地所	19,677			
身 元 保 証 金	8,834	8,725	8,733	9,906
敷 金 預 勘 定	1,707			ı
地所建物売買保証金	500	300	411	
備荒。儲蓄	552	552		
仕払未済利 益 ル 賞与金	33,753			
仮 収 入	526	207,017	11,762	7,703
貸家敷金 勘 定		1,908		
下肥受負金及保証金		3,312		3,820

当座借越金		101		
仕払未済利益割賦及び家 具什器償却,理事会費用		43,879	44,162	
仕払未済監査役費用重役 賞与,支配人以下賞与金		10,377	10,794	
貸家敷金 勘 定			2,053	1,912
出 張 所 勘 定			47	
三井銀行受托物件				1,269,008
仕払未済利益割賦 重役賞与,建築資金			;	63,111
諸消却積立,支配人以下 賞与金及監査役費用				8,903
財 産 額	1,777,189	1,794,627	3,243,680	3,933,468
総 計	4,455,113	4,720,802	6,171,647	6,928,826

三井工業部 資産・負債及び財産調査表(資産) (単位円) 資 産 摘 要 29.6.25 29.12.31 30.5.31 30.12.30 各工場資金 942,356 1,062,913 961,839 各製作,製糸,紡績所 1,187,821 853,155 663,181 ± 地 22,869 什 器 15,012 49 49 49 仮 支 出 金 35,089 13,947 25,322 10,100 受 入 手 形 25,611 1,485 300 1,651 金 現 在 髙 68,999 37 653 113 各製糸所仮決算損益 23,931 工業所地所 144,857 工業所建物 250,202 械 器 機 具 416,142 料 原 965,723 半 製 品 268,854 貯 蔵 品 20,812 燃 料 8,553 受托販売品 141,982 掛代 売 金 227,554 預 2,194 ケ 金 代 金 滞 貸 4,728 職 工 貸 金 820

職工賄費 仮 払 名古屋三重両製作費		2,295 11,285			
	女養成費	9,266			
製	糸		8,175		
雑 勘	定			300	
製	品	42,738			
総	計	2,662,725	2,153,948	1,841,005	1,785,350

三井工業部 資産・負債及び財産調査表(負債)

(単位円)

負債摘要	29.6.25	29.12.31	30.5.31	30.12.30
	550,000	860,000	860,000	860,000
三井銀行借入金				400,000
補塡積立金			68,429	43,321
職 工 保護資金		1,237	837	837
身 元 保 証 金	15,126	18,586	21,554	35,138
当座借越金	i	1,071,560	204,742	196,732
預り金	6,196	1,095	1,652	1,000
田中久重未払年賦金		3,000	3,000	2,000
仮 収 入 金	8,556	16,196	39,558	13,495
雑 勘 定				221
仕 払 手 形				91,630
新設工業資本金	150,000			
各銀行勘定	1,596,451			
職工積立金	13,613			
注文手附金	30,950			
掛買代金	11,271			
生 糸 合名会社	125,763			
芝 浦 年賦未済	4,000			
職工給料支払未済	3,928			
代金滯貸年賦割引	1,576			
地所建物代価差損	4,743			
機械什器代価差損	30,463			
富岡前橋買物代預		13		
仕払未済利益割賦			21,500	
ル 重役賞与		57,500		

研 究(安岡)

支払未済補塡積立金 借 入 金 当 季 損 金 仕払未済補塡積立 潮田伝五郎米国行旅費 仕払未済配当及重役賞与 建築資金及支配人以下特 別手当		J	600,000 11,607	29,622 29,384
財 産 額	110,048	124,758	8,122	81,966
総計	2,662,725	2,153,948	1,841,005	1,785,350